

モンゴル&カザフ 遊牧音楽文化祭

2025年2月10日(月), 11日(火)
会場：まちの縁側1丁目の加々美さんち
(町田市玉川学園1-20-13)

遊牧世界では生み出されたものは、ほどなく消えていく運命にあります。この運命を受け入れながらも、代わりにいつでも必要なものを新しく創り出せる精神性と文化を遊牧民は発展させてきました。その真髓が…口承文芸です。遊牧文化の粋が、ここにあります…

2025. 1. 29

2/10(月)

- 13:00~ 民話ライブ「モンゴルの馬頭琴と嘯」
(馬頭琴演奏:宮原洋子, 嘯:西村幹也) (チップ制)
- 14:30~ 民族楽器(馬頭琴やドンブラ)体験コーナー
- 18:00~ モンゴル&カザフ 遊牧音楽の宴 (2000円中学生以下無料)
(モンゴル音楽:B.ボルド、カザフ音楽:L.クグルシン)

2/11(火)

- 10:00~ 民話ライブ「モンゴルの馬頭琴と嘯」
(馬頭琴演奏:宮原洋子, 嘯:西村幹也) (チップ制)
- 11:00~ 民族楽器(馬頭琴やドンブラ)体験コーナー
- 13:00~ モンゴル&カザフ 遊牧音楽の宴 (2000円中学生以下無料)
- 16:00~ モンゴル&カザフ 遊牧音楽の宴 (2000円中学生以下無料)

チケット申込みはこちら(各回定員20名) ⇒



主催：NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがあ
NPO法人玉川学園地区まちづくりの会地域資源活性化プロジェクト
協力：玉川学園・南大谷地区協議会, 玉川学園町内会



宮原洋子：馬頭琴練習会「天馬の会」主宰。1995年初めてモンゴルに行き以来その文化に興味を持ち2000年より馬頭琴を始める。I.Amartuvshin, Sh.Boldbaatar, v.Ta. Batchuluun, A.Baterdeneより指導を受け今に至る。2015年冠ジャンツァンノロブ全国馬頭琴コンクール優勝。2012年モンゴル国より友好勲章を授与される。



L.クグルシン：カザフ民族楽器ドンブラ演奏、歌。モンゴル国バヤンウルギー県在住。幼少の頃、ドンブラを弾き語る父親の傍らで音楽を学ぶ。約30年間を遊牧をしながら医師として草原地域で暮らし、土地の古老らから多くの歌を学ぶ。素晴らしい歌声が評判となり、演奏依頼が後を絶たず、第一文化功労者勲章を授与されるに至る。モンゴル地域のカザフ人に伝わる古い楽曲を知る希有な存在である。(2007~来日)

B.ボルド：英雄叙事詩、讃歌、祝詞、馬頭琴、喉歌。モンゴル民族楽器馬頭琴をはじめ、様々な楽器を弾きこなし、喉歌(ホーミー)の使い手。モンゴル国アカデミーが認定するわずか9人の英雄叙事詩の語り部の一人。“聖なる英雄の叙事詩”は全編で28時間を超える。普段はモンゴル国バヤンウルギー県で普通に遊牧生活を営むが、讃歌(約2時間)を捧げるために山に登ったり、英雄叙事詩を詠唱するという生活を送るという不思議な存在。(2020年来日)

遊牧民雑貨市場

期間中、モンゴル&カザフの手作り雑貨などかわいい、めずらしい、綺麗な各種雑貨の販売をしています!